



緑の風



真夏の払田の柵

学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

おだやかに 当たり前のように 前期後半スタート

いつもよりも短い夏休み。しかも、お盆明けすぐの学校の始まりでしたが、欠席ゼロでスタートすることができました。学校の始まりに向けた各家庭での心と体のコントロールのおかげです。いつものように、穏やかに温かい子どもたちの様子や、教室に入って友達や先生と笑顔で接している様子に、当たり前ができていくことの幸せを感じました。

約1か月ぶりの子どもたちは、黒くなっている子や体が一回り大きくなった子どもなど、外見からも成長がうかがえました。

取材のために来校した秋田魁新報の記者も、明るくて人なつっこい子どもたちに癒やされて、「元気をもらいました!」と、うれしそうにしていました。

夏休み前とのちがい

2年生の教室→

それでも、夏休み前にはなかった「壁」ができた教室もあって“違い”を実感している声も聞かれました。この後、前後の出入り口に扉が取り付けられます。まだテスト運転期間なので、使える時間は限定的ではありますが、暑い日にはエアコンも使えそうです。



夏休み明け集会

元気な校歌
→

運営委員会の司会進行で、スタートの日に全校集会を実施しました。高橋英昭先生の指揮による校歌も元気、元気! この集会のメインは、各学年の代表による夏休みの作品や思い出の発表です。下の学年では、折り紙で作ったカレンダーやアマビエのマスコットなどを見せてくれました。高学年になると、自分の夢や得意なことをきちんと意識した取組が見られました。野球に関する夢に向かって、ジャイアントのマークをたくさんのつま楊枝で作った工作や的当てゲームのボード。手先の器用さを生かした工作も紹介されました。

これからじっくりと、109人全員のがんばりを見せてもらうのがとても楽しみです。



新型コロナとの共存は、まだまだ続きます！

お盆の帰省客の減少や、各お寺さんのお墓参りの制限など、いろんなところで、いろんな方々が感染症予防対策を考えて、実行しています。

しかしながら、クラスターが発生してしまったり、自粛の仕方が不十分だったりする事例も見られます。昨日は、大仙保健所管内でも新規感染者が出て、学校での感染対策も、さらなる徹底を心がけていく段階です。

学校でも、これからが夏本番のような暑い毎日を迎えるに当たって、コロナ対策と熱中症予防対策を併せて実施していきます。各教室の熱中症指数に沿って、遊びの制限や水分補給について、学校全体で声をかけ合っていきます。



前期後半は10月9日までの38日間

～前期の主な学校行事とコロナ対応（※）～

9月12日（土）学習発表会

※学年の発表ごとに、体育館の保護者の入れ替えを行います。

※全校の発表は中止します。

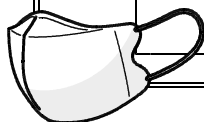
10月1日（木）～2日（金）6年生・修学旅行

※すでに、宮城仙台の行き先を岩手方面に変更済み。

※出発の2週間前に新規感染者が出た県への旅行は中止します。

（感染の状況によりますが、期日の延期や秋田県内の旅行を考えて、できる範囲で実施する方向で調整します）

※参加に当たっては、保護者の了解を伺います。



各ご家庭でも、マスクや水筒の準備。そして、規則正しい生活習慣作りなどについて、ご配慮をよろしくお願いいたします。特に、月曜スタートの今週は要注意です。まずは、元気に学校に登校することを第一にして、“じわじわ”と来週や9月からがんばるエネルギーを補給してあげましょう。

明日の職員会議で、先生方と9月の学校の目標や計画について話し合います。

2020の合い言葉、「たいようの 声と笑顔で “発信”」を具体的に授業や委員会活動の中で実践してほしいと思っています。9月は、2020年の山場だと考えています。

ご家庭でも、「なぜ」や「質問」のできる子に育ててほしいですし、「自分の言葉で説明する」場面を意図して与えてみてはいかがでしょうか？

9月は、みんなで、こんな授業を目指していきましょう

①子どもの「なぜ」が問いになる授業

②「質問」できる場面の多い授業

③「自分の言葉で説明」する授業



たいようの 声と笑顔で “発信”

④子どもも 先生も 笑っている授業

コロナとの共存も、

みんなで 知恵を絞って、 みんなで がまんして、
できることをやりましょう！

ですね。